



1年
大和田 諒さん

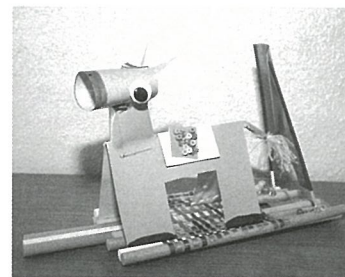


『たのしかった
うどん会』

※ちからいっぱい
はしゃいだと
ころを、がん
ばってかきま
した。



2年
片岡 彩さん



『ポニーのたび』

※ポニーの顔が
かわいくでき
ました。早く
水にうかべて
みたいです。



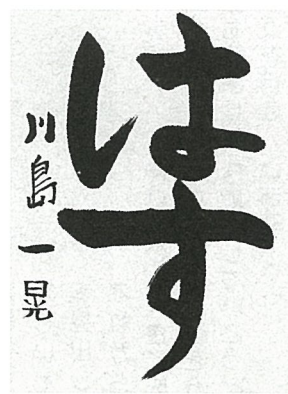
『ふわふわうさぎちゃん』



3年
小川 香織さん

※小さい頃に着
ていた服を使っ
てうさちゃん
の体や足を作
りました。

あつまれみんなの力作



『は す』

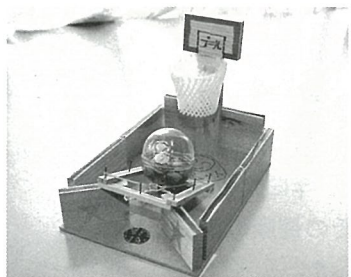


4年
川島 一晃さん

※『おすび』の
形に気をつけ
て書くのは、
むずかしかつ
たです。



5年
伊藤 心矢さん



『バスケットで
ナイスシュート』

※バスケットが好き
でこの工作を
作りました。
工夫した点は
輪ゴムを使っ
たことです。



6年
伊藤 佑哉さん

※ナチが死んで
天国へ行く様
子を想像して
かいてみまし
た。



『帰ってきたナチ』



ひかり歌壇



伊藤 定男 (尾垂)

ペン習字学ぶ意欲の友多く
解散告ぐる長の目潤む

クラブの指導に力を注がれた先生
の眼が潤んでおられる

越川 福子 (宮内)

藍深深中天に集まり白々と
流るともなく銀河果て行く

中天に広がる銀河はやがて消えて
ゆく

鈴木 益郎 (原方)

越路会一年ぶりの再会に
元気で交す同期の桜

一年ぶりの再会を喜ぶ同期の桜たち

土屋 好 (虫生)

瑞瑞し茄子の新漬紺光る
家族の揃う朝の食卓

朝の食卓に茄子の新漬が光り輝く

高梨 キヨ (長塚)

駆け抜けて来し歳月は
かにかくに平凡の日の有難きこと

波乱の人生ではあったが平凡に
過ぎた今日に感謝

短評 鈴木 甲子幸

評者詠

彼岸花荒地に頭つき出して
花びら躍らせ朱の輝く